

北区 第151回 こぼれ話

赤羽駅高架下ハンバーガー店の謎 —国鉄改革と西口再開発と立体交差化が生んだ味—

平成の初めごろ、赤羽駅埼京線の高架下にハンバーガー店「バーガーランドバルーン」がありました。地上にあった宇都宮線・高崎線池袋方面の7番線ホームから、入店することができました。池袋方面（東北貨物線）は、立体交差化工事により、一時的に赤羽駅付近のみが単線化され、7番線ホームは上り下り共用という変則的な形になっていました。さらに、そのハンバーガー店には、拡張途中の西口広場側からも直接入れました。店員は、全員中年男性でした。ファストフード店につきものの営業的スマイルは、全くありません。しかし、味はとても良いのです。当時の私は、宇都宮線と埼京線の乗り換えのため、赤羽駅を利用していました。週に二度くらいこの店に通い、いつもフィッシュバーガーとポテトとコーンスープのセットを注文していました。食後は、店内で電車を待ちながら、この男性たちは何者なのだろうかと考えていました。彼らの勤務態度や言葉からは、心ならずもここにいるという意識がにじみ出ていたのです。私の心に浮かんできたのは、「国鉄余剰人員」という言葉でした。昭和62年（1987）4月1日の国鉄分割民営化の矛盾が噴出していた時期です。この年10月30日早朝には、赤羽駅地下通路で、動労系のJR社員が襲われる内ゲバ事件が発生していました。そんな時代の赤羽駅です。当時の私は、深く調べようとは思いませんでした。

はからずも、その謎が解けたのは最近です。偶然『都北新聞』昭和62年7月28日号の紙面に「埼京線下に仮設店舗 赤羽駅西口 営業権者に賃貸」という記事を見つけました。その内容は、埼京線高架下の14スパン、約1200㎡を仮設店舗とし、西口広場予定地で営業している者へ優先して賃貸するというものでした。つまり、



平成初めごろの赤羽駅

西口再開発による地元店舗の立ち退き先として、JRが仮設店舗を提供したのです。その記事の中に「このうち駅前広場に近い2スパン、約200㎡はJRが収益をあげることに余剰人員対策としてハンバーガー店の営業を考えている」とあります。まさに、バーガーランドバルーンのことです。やはり、あの男性たちは余剰人員でした。つまり、国鉄分割民営化と、西口再開発と、立体交差化の三要素が、あのハンバーガー店を生んだのでした。

『航空住宅地図 北区』平成元年版（公共施設地図(株)発行）を見ると、ガード下には、例のハンバーガー店のほかに、フラワーショップ花文・うさぎや観光・フルーツショップワタナベ・ブックスペースワンなどを確認できます。当時、テレビのニュース番組で、同じ並びにあったニュー酒蔵崑崙^{こんろん}という居酒屋が、ホームから直接入れる店として紹介されていました。ハンバーガー店とのコントラストが、きわ立っていました。

今でも、赤羽駅での乗り換えの時、あの男性たちが属していたのは国労だったのか動労だったのか、その後、どのような人生を歩んだのだろうかなどと、たまに思い出すことがあります。

【地域資料専門員 黒川徳男】



北区の部屋 今月の展示

『絵本江戸土産』

展示期間 2月25日(金)～3月30日(水)

展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



歌川広重及び二世広重の挿絵に説明を加えた^{たんさいしよくず}淡彩色摺り絵本『絵本江戸土産』より北区関係の部分を紹介します。
適確にとらえられた当時の自然の特徴をお楽しみください。

令和3年度古文書入門講座 「北区の古文書を読んでみよう！」を開催しました。



保垣孝幸講師

感染症の影響で開催を延期していましたが、1月14日から2月25日まで全6回を実施しました。講座では実際に北区の民家に伝わっていた、江戸時代の古文書を、保垣孝幸講師作成のテキスト『古文書解読虎の巻』と『字典』を使い、読み解いていきました。そのため文字の解読だけでなく、江戸時代、北区域に住んでいた人々の日常や、時代劇で見るのとは違う、農民と武士との関係、武家の懐事情なども学ぶことができました。また当時の貨幣の単位、時刻、月日の表し方等も、講師のわかりやすい説明と共に学びました。参加された皆様は、毎回大変熱心に受講し講座を修了されました。来年度も5月、6月に「古文書入門講座」開催予定です。詳細は本誌や北区ニュースに掲載します。ご応募お待ちしております。



北区に関する資料を寄贈していただきました。

✦ 1980年代の北区が掲載されている写真集 ✦ 著者 ^{こいずみ さだひろ} 小泉 定弘



『隅田川 The Sumida』北区を含む7区に接して流れる隅田川。1987年に22の橋の上から上流下流を撮影した写真集。北区にかかる橋では、豊島橋、新田橋、新神谷橋から撮影したものが掲載。【3-0003259520】
『明治通り THE MEIJI DORI』明治通りにかかる40の歩道橋から、1988年元旦に起点終点方向を撮影した写真集。かつて飛鳥山にあった回転展望台も少し写っています。【3-0003259519】

『都電荒川線 The Arakawa Line』三ノ輪橋から早稲田まで1986年8月から10月に撮影した写真集。梶原、栄町、王子駅前、飛鳥山、西ヶ原4丁目の電停や当時の人々の様子がわかります。【3-0002545448】北区の図書館全館に配架。是非ご覧ください。※【】内は書誌番号

✦ 北区域も描かれている浮世絵風景画 ✦

^{くわがた けいさい} 鋤形 蕙斎

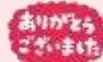
原画

^{え どめいしよず え} 『江都名所図会』

上野(寛永寺と不忍池)、神田明神(神田明神境内)など全五十景が収められている中に、西ヶ原(牡丹園)、王子(王子稲荷)、飛鳥山(飛鳥山全景)が含まれています。西ヶ原(牡丹園)が描かれている資料は稀少です。中央図書館「北区の部屋」に配架します。

この本は、貸出は出来ませんので、館内でご覧ください。

【書誌番号：3-0001086834】



北区の部屋だより

2022年4月 第152号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和4年4月発行

北区 こぼれ話 第152回

「御朱印」寺社と 寺社の「御朱印」



私ごとで恐縮ですが、私の研究テーマの一つに江戸時代の寺社、取り分け「御朱印」寺社に関する研究があります。こうした話をすると「あっ、私も集めている!!」といった反応をされる方とよくお会いします。何と返したのか思案することしばしばなのですが、そもそも私が研究している江戸時代の「御朱印」と、現在その収集がブームになっている寺社の「御朱印」、ともに「御朱印」と呼ばれていますが両者は全くの別物だということはご存知でしょうか。

朱印とは、朱の印肉で押した印影のことで、押印された文書自体を「朱印」と呼ぶこともあります。江戸時代には、将軍や大名などが発給する格式高い文書であることから敬称を付けて「御朱印」と呼ばれ、大名や旗本へ知行を宛行うときや寺社などに対して所領を寄進する場合などに「御朱印」が用いられました(『国史大辞典』第7巻、吉川弘文館、1986年、P242)。ちなみに北区では王子権現社、平塚明神社、赤羽八幡宮の3社と、与楽寺、普門院、法真寺、宝幢院、無量寺、東覚寺、円勝寺の7ヶ寺が歴代将軍の「御朱印」によって所領が認められています。

一方、現在では、寺社が参詣者に対し参詣日や寺社名、本尊(祭神)などを墨書し押印したものを「御朱印」と呼び、これを収集することが盛んに行われています。寺社参詣が盛んだった江戸時代にも書写した経文や金銭を奉納し、その証として帳簿に墨書してもらうことが行われていましたが、こうした帳簿は「納経帳」な

どと呼ばれ、寺社の墨書、押印を「御朱印」と呼ぶことはありませんでした。では、いつ頃からこれを「御朱印」と呼ぶようになったのでしょうか。実は調べてみてもよくわからないのです。

当館で所蔵している『日本国語大辞典』(第1版、1976年および第2版、2001年、ともに小学館)、『大辞林』(第3版、2006年および第4版、2019年、ともに三省堂)、『大辞泉』(増補新装版、1998年および第2版、2012年、ともに小学館)、『広辞苑』(第6版、2008年および第7版、2018年、ともに岩波書店)といった辞典類で「しゅいん」および「ごしゅいん」の項目をひいても、寺社が参詣者に対して発給する押印としての意味はどの辞書にも書いてありませんでした。その意味では、新しい意味として広く普及していつている用語であると思われますが、現在、インターネットで「御朱印」と検索すると、そのほとんどが寺社の押印およびその収集を題材としたサイトとなります。歴史的な用語とは違った意味の方が浸透しているようです。

ちなみに「御朱印」寺社を研究している私ですが、寺社が発給している現在の「御朱印」にはほとんど興味が無く、こちらの「御朱印」について相談されても全くといっていいほど役に立ちません。悪しからずご了承ください。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



北区の部屋 今月の展示

「北区新聞社に残された昭和の光景 PART 2」

■展示期間：4月1日（金）～4月27日（水）

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

北区には、かつて様々な地域新聞社があり、そして消えていきました。北区の代表的新聞として、常に地域ジャーナリズム界をリードし、令和2年(2020)10月まで最も長く発行され続けたのが『北区新聞』でした。その発行元の北区新聞社には、さまざまな写真が残されていました。なつかしい駅の風景。つぎつぎに建設される団地。生活環境を守ろうとする住民たちの闘い。変化し続ける街の姿。それらは、まさに北区の昭和史を物語るものばかりです。今回は、その第二弾を展示いたします。ぜひご覧ください。

【協力：榎本龍治氏】



【写真】日の丸のはち巻きに「決死」の文字
北区役所区議会議員室前にて、
東北新幹線の計画に反対する人々

公開歴史講座 開催しました

「御府内」所在寺社の所領配置と豊島郡 — 近世北区域のもう一つの特徴 —

■3月12日（土）14～16時・中央図書館3階ホール

■講師：保垣孝幸氏（近世史研究家・「北区の部屋」地域資料専門員）

タイトルにある「御府内」とは、江戸時代に幕府が定めた江戸の市域のこと。北区の村々を含む武蔵国豊島郡は、「御府内」にある寺社の領地（所領）が多く、幕末の頃には約4万8738石の郡高に対して1万5620石余、実に32%もの割合で寺社の領地が集中していました。

そんな寺社の領地の村々は、特権である「諸役免除」を盾に幕府から賦課されるさまざまな「役」を断ってしまうなど、結構したたかに立ち回っていたことが資料から読み取れました。でも、そのしわ寄せは当然、周囲の村々に来るわけで、凡そ三分の一

もの割合で寺社の所領だった豊島郡では、その影響も大きかったようです。

今回の講座では、10代の学生さんから80代の方まで、幅広い年齢層の方々が受講されました。受講中は皆さん熱心にメモを取られており、終了後、保垣講師に色々質問されている方もいて、北区の歴史への関心の高さが伺えました。

なお、今回の講座の資料は、「北区の部屋」のカウンターにて希望者に無料配布しています。興味のある方はスタッフまでお声がけください。

講座開催の お知らせ

古文書入門講座 「いろはの『い』」

北区の旧家に残されていた江戸時代の古文書をテキストに、くずし字の解読方法や地域の歴史について学習します。

【対象】区内在住・在勤・在学、18歳以上の方

【日時】令和4年5月13日～6月17日

毎週金曜日・全6回・午後2時～4時

【定員】20名（抽選・初めての方優先）

【場所】中央図書館3階ホール

【講師】保垣孝幸 地域資料専門員

【申込】往復はがきの往信用裏面にイベント名、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用表面に申込者の住所、氏名を記載し下記まで。4月21日（木）（必着）。

【送付先】〒114-0033 北区十条台1-2-5 北区立中央図書館図書係

【問合せ先】TEL:03-5993-1125（図書係・地域資料担当）

古文書



北区の部屋だより

2022年5月 第153号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和4年5月発行

北区こぼれ話
第153回

水戸駅へ行く場合は 田端駅から乗らないほうがよい理由 —「山手線内」運賃計算のミステリー—



先日、トラベルミステリーの大家、西村京太郎先生が亡くなりました。かつて、私は湯河原の西村京太郎記念館を訪れたことがあります。その折、先生は、館内の喫茶室で鉄道についての雑談にに応じてくださり、帰りぎわに握手をしていただきました。とても、気さくな方でした。

鉄道とは、実に様々なミステリーに包まれた乗り物です。運賃の計算方法もその一つです。今回は、北区を例に、運賃計算の謎の一つをご紹介します。

あなたが、田端駅と上中里駅の間に住んでいたとします。今から茨城県の水戸駅へ行く用事があります。田端駅と上中里駅のどちらから乗ったほうがお得でしょうか。常識的には、田端駅と答える方が多いと思います。なぜなら、JRのみを利用して水戸駅まで行く場合、田端駅から山手線か京浜東北線で日暮里駅へ向かい、日暮里駅で常磐線に乗り換えるのが最短ルートだからです。上中里駅から乗ると、田端駅までの1駅分の距離と時間が長くなってしまいます。



東京駅 100年記念・山手線ラッピング車両 田端駅 2014年

ところが、運賃を計算すると、不思議なことが起こります。田端駅から水戸駅までが 2310 円なのに、上中里駅からは 1980 円なのです。上中里駅から乗るほうが、距離が長くなるのに安いのです。その差、330 円です。150 円のペットボトルのお茶を2本買ってもお釣りが来ます。そのポイントは、田端駅から水戸駅までの距離（営業キロ）が、101 kmから 200 kmの間だということにあります。この距離の場合、山手線内の駅では、どの駅から乗車しても「山手線内」発になります。その場合、東京駅を起点として運賃を計算します。水戸駅までは、日暮里駅から乗っても、新宿駅から乗っても、東京駅からと同じ 2310 円です。一方、上中里駅は山手線の駅ではありません。上中里駅から水戸駅までは、そのままの距離での計算となり 1980 円で済むのです。

では、北区内のほかの駅ではどうでしょうか。昭和町にある尾久駅から、宇都宮線や高崎線の上り列車に乗車した場合ですが、上野駅経由で常磐線に乗ることになります。尾久駅からの列車は、日暮里駅構内を通過し上野駅へ向かうので、日暮里駅と上野駅の間を余分に往復します。しかし、尾久駅と上野駅の間は運賃計算上の特例区間にあたり、日暮里駅で乗り換えるのと同じ扱いになります。結果的に、水戸駅までは上中里駅と同じ 1980 円です。ちなみに、王子駅から乗っても 1980 円です。

このように、水戸駅へ向かう場合、田端駅から乗ることは運賃計算上おすすめできないのです。

【地域資料専門員 黒川徳男】

北区の部屋 今月の展示



鷹場法度 ～北区の村の決まりごと～

■展示期間：4月29日（金・祝）～5月25日（水）

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

将軍が鷹狩りをする鷹場では、様々な制約がかかっていました。

今回の展示では、北区域の村々も含まれる鷹場の実態を紹介します。



～ 地域資料★新着図書のご紹介 ～

中央図書館では、毎月多くの地域資料を受け入れています。地域資料とは、北区やその周辺の地域に関する行政資料や郷土資料のことで、図書以外にもチラシやパンフレット、古地図、古写真、CD、DVD など多種多様です。今回はその中から、今月北区役所が発行した図書を2冊ご紹介いたします♪

『扉 ～第20回 北区内田康夫ミステリー文学賞 受賞作品～』

◆書誌番号：3-0003275081 ◆編集：実業之日本社 ◆協力：内田康夫財団

◆発行：北区シティプロモーション推進担当課

北区では、毎年3月に「北区内田康夫ミステリー文学賞」の授賞式及び各賞の発表と表彰が盛大に行われます。これは、北区アンバサダーとして活動された作家の故内田康夫氏のご協力のもと、平成14年に創設した北区独自の文学賞で、今年の3月26日には、昨年度にエントリーした第20回文学賞の授賞式が行われました。その各受賞作品をまとめたブックレットです。こちらは、シティプロモーション推進担当課と区政資料室にて、希望者に無料でお配りしています。

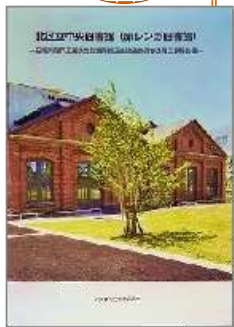


『北区立中央図書館（赤レンガ図書館）』

—旧東京砲兵工廠銃包製造所煉瓦造建造物保存活用工事報告書—

◆書誌番号：3-0003278674 ◆叢書名：文化財研究紀要別冊

◆編集：北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館 ◆発行：北区教育委員会



北区立中央図書館の建物は、もとは大正8年に旧陸軍の工場として建てられた煉瓦棟でした。それが現在の図書館に至るまでの保存・活用工事などを、当時の写真や詳細な図面とともに1冊にまとめたものです。こちらは、中央図書館や飛鳥山博物館、区政資料室にて1冊500円（税込）で販売しています。

※これらの本は、区内全図書館で配架・貸出しています。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。

～ 北区の部屋・地域コレクション：「北区ニュース」～

北区ニュースは北区行政を区民の皆さまにお知らせする広報紙で、昭和35年（1960）2月25日に「北区財政白書特集号」という形で誕生しました。B5判・4頁（創刊号のみ8頁）の単色刷りで隔月発行（翌年から月刊）と、現在の装丁とは全く異なります。内容もその時代が大きく反映され、例えば、昭和35年度の当初予算額は約12.4億円（令和4年度約2412.7億円）と、予算ひとつ見ても約200倍違うなど、物価から何から現在と大きく異なり、読み比べてみるとなかなか楽しいものがあります。

「北区の部屋」では、そんな北区ニュースを創刊号から所蔵しています。一部欠号はありますが、大半は揃っていますので、興味のある方は一度見にいらしてください。



北区ニュース・創刊号



北区の部屋だより

2022 年 6 月 第 154 号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和 4 年 6 月発行



北 区
こぼれ話
第 154 回

「北区の部屋」 作業室にある切手図鑑



現在、郵便局で常時販売されている通常はがきは 63 円で切手の部分には「ヤマユリ」がデザインされています。通常はがきが 63 円になったのは、2019 年（令和元）10 月のこと。したがって、はがきの文面に年月日が書かれていなくても、63 円のはがきが使用されている時点で 2019 年以降に書かれたものであることがわかります。このように手紙にどのような切手が貼られているか、はがきの種類は何かで、手紙の作成年代を推定することができるのです。

「北区の部屋」で地域の旧家などから持ち込まれた古い歴史資料を整理していると、多くのはがきや封書に出くわします。こうした手紙類の多くは、月日は書かれていたとしても年号を記していることが少なく、果たして何年に書かれたのか悩むことしばしばです。こうしたときに手掛かりとなるのが切手やはがきの種類、そして郵便局の消印になります。例えば、1930 年（昭和 5）8 月、はがきの図案が改正され皇居前広場にあった楠木正成像となりました（「楠公はがき」と通称されます）。「楠公はがき」の消印に「7.5.17.」とあった場合、大正 7 年ということはありえず昭和 7 年であると判明します。また同じ「楠公はがき」でも 1933 年（昭和 8）に「郵便はがき」という印刷から「郵便はがき」へと仕様が変わり、さらに 1937 年（昭和 12）には 1 銭 5 厘から 2 銭へ

値上げされるなど時期によって変化があります。「楠公はがき」以前は、1911 年（明治 44）から発行されていた菊のまわりを分銅型の文様で囲んだ通称「分銅はがき」ですが、この「分銅はがき」も色の違いなどで発行年を絞り込むことができます。

当然「楠公はがき」発行以降でも手元に残っていた「分銅はがき」を用いる場合があります、「分銅はがき」だからといって昭和 5 年以前である確証とはならないのですが、それでも資料の作成年代を推定する一つの目安にはなります。そして、こうした形状に加え、実際の手紙の内容などから判断して資料の年代推定^{（※）}をしていくことになるのです。

ちなみに「北区の部屋」作業室には日本郵趣協会が発行した『日本切手図鑑』という小冊子が置かれています。これは資料の作成年代を推定する参考資料として置かれているのであり、地域資料専門員が切手収集のマニアだからという訳ではないのです。

【地域資料専門員 保垣孝幸】

（※）作成年月日が記されていない資料について、その年代を確定していく作業を年代推定といいます。



北区の部屋 今月の展示

新幹線がやってきた！その光と影

■展示期間：5月27日（金）～6月22日（水）

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー



今から40年前、1982年（昭和57）東北新幹線の大宮駅―盛岡駅間が暫定開業しました。さらに、1985年（昭和60）に上野駅―大宮駅間が開業しました。この時から、新幹線が北区のほぼ中央を通過するようになったのです。当時、東海道・山陽新幹線の騒音や振動などが公害問題となり、ニュースで報じられていました。東北新幹線計画をめぐるのは、大宮以南の沿線住民が生活環境を守るために反対運動を繰り広げました。北区では、浮間や赤羽北において激しい運動が展開されました。

その一方で、田端には、新幹線の車両基地が設置されました。1985年、田端操車場の一部が、東北新幹線の上野第一運転所となり、2004年（平成16）には、東京新幹線車両センターが置かれました。

北区は、新幹線の停車駅がないのに車両基地はあるという、不思議な自治体です。今回の展示では、新幹線にまつわる光と影について展示いたします。ぜひご覧ください。



東北新幹線・埼京線の赤羽台トンネル付近工事
（1985年1月）



～ 古文書入門講座「いろはの『い』」開講しました ～



講師：日本近世史研究家
保垣孝幸 地域資料専門員

5月13日（金）に古文書入門講座（全6回）が開講しました。古文書を読み解くための基礎知識や字典の使い方を学びながら、くずし字を一文字ずつ読み解いていきます。テキストは北区に残る実際の古文書です。古文書特有の表記方法や言い回しだけでなく、その時代背景も解説していくため、訳し終えたと、当時の北区の村々の様子や農民の生活が目に見えようでした。受講生の皆さんは、大変集中して古文書に取り組んでおり、古文書に対する関心の高さが伺えました。



浅見光彦シリーズ 新刊本ご案内

浅見光彦シリーズ番外 第二弾、
「浅見家四重想 須美ちゃんは名探偵!?」
が出版されました。



内田康夫財団事務局/著
光文社文庫
書誌番号 3-0003283834

北区アンバサダーであった、故・内田康夫氏が設立した、内田康夫財団が、この度新刊本を出版しました。「須美ちゃん」とは浅見家で働く家政婦さんのことで、彼女が主役のスピノフ作品第2弾です。制作過程で、北区役所が取材協力し、北区の風景を随所に散りばめられた作品となっています。

なんと、滝野川図書館も物語の重要な場面で登場しますよ！

ぜひ、ご一読ください！



北区の部屋だより

2022年7月 第155号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 Tel.03-5993-1125 令和4年7月発行

北区
ごぼれ話
第155回

支払われなかった国債 — 国破れて紙くずとなる —



「支払われなかった国債」と言っても、現代の財政破綻によるデフォルト(債務不履行)のことではありません。かつての日本の話です。ロシアによるウクライナ侵攻が、世界経済に影を落とし、様々な憶測が飛び交っている現在、昔の話であっても、読者の方に何らかの意味を見出していただけると、著者としては何よりのことと思います。

ここに一枚の「^{しきん}賜金国庫債券」と書かれた紙があります。かつて、区民の方からお預かりし、撮影しておいたものです。国庫債券すなわち国債の一種です。日中戦争時の行賞として政府から贈られましたが、これを受け取ったのは、民間の方です。このような債券は、軍人や軍属だけでなく、民間人にも贈られたのです。金属回収などで功労があった方が、その対象となりました。この債券の持ち主には、昭和20年(1945)から昭和35年(1960)まで、毎年利子が支払われることになっていました。さらに、元金80円については、昭和35年4月1日以降に受け取れるはずでした。

ところがよく見ると、昭和20年の利子の部分だけが切り取られています。これは何を意味するのでしょうか。この債券の持ち主は、昭和20年の利子2円92銭だけを受け取ったということです。そして終戦を経て、昭和21年の占領下「軍人及び軍属以外の者に交付された賜金国庫債券を無効とすることに関する法律」によって、この債券そのものが無効とされたのです。

これに先立ち、軍人と軍属へ贈られた賜金国庫債券も、ポツダム勅令によって無効とされました。ポツダム勅令とは、ポツダム宣言履行の



◀ 賜金国庫債券 (昭和15年発行 個人蔵)

ために発された勅令のことです。日本国憲法施行後は、ポツダム政令となります。つまり、GHQの意を受けた日本政府により、賜金国庫債券は無効とされたのです。

この債券の持ち主は、赤羽で商店を営んでいました。昭和20年4月13日深夜から14日未明の空襲により、店舗兼自宅は焼失してしまいました。空襲中、債券などの財産に関わる書類は、持ち出されたか、事前に防空壕などへ搬入されていたのでしょうか。運よく、焼けずに残されたのです。ところが、戦後、国の事情により紙くず同然となりました。その後、廃棄されることもなく、持ち主や家族により、日の丸の寄せ書き等とともに保存されてきたのです。戦争と占領政策に翻弄された、ある家庭の歴史を語ってくれる、かけがえのない資料と言えるでしょう。

【地域資料専門員 黒川徳男】

北区の部屋・今月の展示「^{しよけもんじよ}諸家文書に含まれる写真から」



◆期間 6月24日(金)～7月27日(水)

◆場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

「北区の部屋」に持ち込まれる旧家や寺社の歴史資料の中には、様々な機会に撮影された古い写真が含まれています。今回の展示では、そんな諸家文書に含まれた古写真たちを紹介します。



公開歴史講座「飛鳥山渋沢邸と明治日本外交」のご案内

明治初期の厳しい国際環境の中で始められた渋沢栄一の国民外交。
飛鳥山渋沢邸での「おもてなし」の政治的背景についてリアルに語ります。

◆対象◆ 区内在住・在勤・在学の中学生以上

◆日時◆ 8月7日(日)午後2～4時

◆場所◆ 中央図書館3階ホール

◆講師◆ 地域資料専門員 黒川徳男氏

◆定員◆ 20名(応募多数の場合は抽選)

◆申込◆ 往復はがきに下記必要事項を記載のうえ、7月20日(水)(必着)まで。

※ 往信用裏面には①講座名、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤年齢、
⑥電話番号を、返信用表面には申込者の①住所、②氏名を記入する。

※ 視覚障害のある方は電話、聴覚障害のある方はファクスによる申し込み可。

※ 手話通訳が必要な方は事前にご連絡ください。

※ 会場にはヒアリングループ補聴援助システムが設置されています。

◆申込・問合せ先◆ 北区立中央図書館 図書係

〒114-0033 東京都北区十条台1-2-5 TEL 03-5993-1125 FAX 03-5993-1044



渋沢庭園にある渋沢翁の銅像



古文書入門講座、終了しました！



5月13日に始まった古文書入門講座「いろはの「い」」(全6回)が、6月17日に無事終了しました。教材にした古文書は全て北区の旧家のもので、江戸時代の婚姻による宗門人別改帳の届出や借金の借用書など、生活に密接した大変興味深い内容ばかりでした。

保垣孝幸講師の講義では、くずし字の読み方だけでなく、当時の歴史的背景の説明も入ります。そのため、北区の歴史についても習うことができ、より関心が高まったのではないかと思います。実際に、講座最終日の

アンケートの感想では、引き続き古文書の勉強をしたいといった意見のほか、北区の歴史に興味を持ったという意見を多くいただきました。



平和祈念週間、始まります。



北区では、昭和61年に制定した平和都市宣言を記念し、8月2日(火)から8月6日(土)までを平和祈念週間として平和を願う、様々なイベントを行います。図書館もこの取り組みに参加し、戦争や平和に関する図書を集めて、各館に平和図書コーナーを設けます。

◆設置期間

・7月29日(金)～8月31日(水)

※休館日を除く

◆設置場所

・平和図書コーナー(一般書)

→中央・滝野川・赤羽図書館の3館のみ

・平和図書コーナー(児童書)

→全館(15館)の子ども図書館・児童室等

